

はぐくむ光のびる若芽

(256)

谷中 伊藤 康博

私の子供は、中学生の長女、小学校高学年の次女、小学校中学年の長男の三人で、喧嘩も多いが仲の良い兄弟です。

長女は、小さい頃、運動会で人に進路を譲ってしまつような、どちらかというと遠慮がちなタイプで、学校では、あまり感情を表に出さないようでした。しかし、学年が上がるにつれ、陸上競技大会やミニバス大会の選手に選ばれたりすることにより、だいぶ積極性も出てきたように感じられます。現在は、中学校のバスケット部に所属して頑張っています。

次女は、小学校一年の頃から現在も習字を習っています。また、スポーツ少年団の卓球部にも所属して、毎週土曜日は一生懸命練習に励んでいます。

長男は、小学校二年からスポーツ少年団野球部に入部し、現在は、低学年のキャプテンとして頑張っています。我が家では、父、私、そして長男

で三代目の野球選手として、私も夢見ていたプロを目指して親子共々トレーニングに励んでいます。

さて、この長男の所属している野球部でバーベキューをした時の事でした。私は、以前から気にかけていた昔の遊びのことがあります。今日がチャンスとばかりに、ちやうど子供達の人数も適当で

遊び方も大事



その遊びを知る私と同年代の父親もいたので子供達を誘い一緒に遊ぶことにしました。

その遊びは、「六虫(ろくむし)」という遊びで、野球のボールと同じくらいのゴムボールを使い、円と円の間を投げ役が投げつこしている間に走り手が行ったり来たりして六往復する遊びです。

子供達は、初めて体験する昔の遊びに夢中になっていて、とても楽しそうでした。私たち父親達も久しぶりの六虫が「こんなに疲れたっけ」と息をあげてしまいました。他にも「角十(かくじゅう)」と呼ばれる遊びなど、昔の遊びはまだまだあります。

今考えると、昔はかなりの運動量遊びで得ていたようです。当然これだけ動けば夜は疲れ切つて早く寝てしまいます。それが現在はどうでしょう。少子化やゲーム機の影響もあると思われますが、外で遊ぶ子供の姿がめっきり見かけなくなりました。今日、子供の肥満、夜型、朝食抜きなど様々な問題があります。これらの問題は、この遊び方の違いが少なからず影響していると思われれます。

私達は、メンコやベীগマなど、父の世代から行われていた遊びも継承してきましたし、子供の遊びも大切な文化の一つだと思っています。そして、今の子供達が、昔からの遊びを継承しつつ健康な体を自分で作り上げていってほしいと考えています。

今月の顔 シリーズ (88)

健康の秘訣



川野 智也くん(1歳)
母 照美さん(白 機)

る。」と、家事・育児・自分の時間を上手にとつて、1人で頑張りすぎないようにしていることが子育てを楽にする秘訣のようです。

色々な所に出てみよう

現在、町の1年間の出生数は90人余り。小さなお子さんを連れた親子を近所で見かけることも少なくなりました。気軽に声をかけ合う機会もなく育児が孤立しやすい現在ですが、保健センターや子育て支援センターを利用し、家族の手を上手に借りながら子育てをしている川野さんに「育児のヒント」を伺いました。

育児をみんなの手で

川野さんの家族は、智也くんと両親・祖父母・曾祖父母の計7人、4世代家族で暮らしています。隣市からお嫁にきた照美さんは、「みんなが手伝ってくれるので、やってもらえることはやってもらう。」「夫が子供と遊んでくれ育児に協力してくれるので、一人になれる時間があり気が楽にな

育児をゲーム感覚で

智也くんがぐずり、1時間も泣いていた時、照美さんが行った方法は、自分の好きな歌を目をつぶって歌い、この歌が終わるまでに泣き止むかどうかなどと、ゲームっぽく考えて対応していたそうです。川野さん流の上手な気持ちの流し方ですね。

また、これからの希望をきいてみたところ、「地域のおばあちゃん達が、折り紙や昔の遊びを親子に教えてくれるような交流ができればいいな。」「歯みがきが上手にできるように、みんなで一緒にいる教室があつたらいいな。」と話されていました。子どもが少ない時代だからこそ、みんなの手と知恵を活かして、子育てしやすい地域にしていきたいですね。

川野さんの話に肩の力を抜いて、ほっとして下さる方がいてほしいと思います。

(保健師 土屋)

